

会場の皆さんで選んだ やさしいまちづくり大賞

大泉学園まちづくりネット
「学園版ボランティア
スポットの発足」



投票用紙のコメントから

- ・地域の人たちとの連携がすばらしいと思います。日常的な場面での今後の発展が期待できます。
- ・非常に地域と密着した有意義な広がりのある活動を行っていることを感じているため。地元の方々にもとても喜ばれています。
- ・地に足がついた活動ですね。がんばってください。
- ・イベントの企画が面白いと思いました。
- ・ご本人のエネルギーに感心しました。今後もがんばってください。

審査員の総括コメント

審査委員のみなさん 各助成団体へのコメントをいただきました。



委員長

中野 泰志
慶應義塾大学教授



副委員長

響庭 伸
首都大学東京 研究員



関 和子
NPO 法人練馬ぼそぼらん
副理事長



千葉 勝恵
NPO 法人手をつなご
理事長



仲倉 重郎
練馬区身体障害者福祉協会
副会長



室地 隆彦
練馬区環境まちづくり
事業本部
まちづくり調整担当部長

※山岡委員、榎本委員は都合により欠席

はじめの一歩

商店、事業者のまちの福祉環境の関心度調査

今回は車椅子利用者を中心に商店街のバリアフリー調査を実施されていますが、次年度以降、いろいろな障害状況の方々や立場の方々の意見なども含めた調査や取り組みを楽しみにしております。また、道路、店舗の入り口の形態や柵の置き方などのハード面のバリアのほか、案内版、店舗表示の見やすさ(文字、色)や分かりやすさ(表現方法)などソフト面のバリア解消策を商店街へ提案できるといいですね。

ハートフルなふれあいタウン サンツ中村橋

商店街が福祉のまちづくりに取り組んでいただくのはとても重要なことです。消費者として、多様な人がいることを商店の方々を知るための取り組みは大切なことだと思います。福祉のまちづくりの活動を通して、商店街が活性化するといいですね。後半は、通常の一般的な商店街活動になってしまったようで残念です。もう少し、福祉の団体とがっぷり四つに組むようなことを是非後検討ください。

みんなが喜ぶ街の駅

活動が少し行き詰っているように思います。思い切って、他の団体(あまりしがらみのない団体)とのネットワークづくり、連携にとりくまると活路が開かれるかもしれません。個性が強くて広がりがないように感じます。「街の駅」というトータルな考え方を忘れないでほしいです。

モビリティマネージャーの養成

移動をどのように支援するかはとても重要なテーマ。生活のなかでどのように問題解決をしていくかについての事例やノウハウを蓄積するのは大切なことだと思います。少し頭でっかちの活動のように見えました。研修会への参加者ごとのような興味で来ているのか、モビリティマネージャーという考え方が現実に即したもののなのか、とりくみやすいものなのか、などのニーズの把握をすることが重要であると思います。

身近な暮らしの安心・役立ち情報「宅配」プロジェクト

情報のバリアフリーは福祉のまちづくりに関して重要なテーマだと思います。また、音声訳を視覚障害者以外の人にも利用できるようにするという発想もいいですね。ボランティアの育成を通じたまちづくりという発想も大切にしたいです。やはり、広がり問題。「街」という考え方やどうおすびつくのだろうか？

パートナーシップ活動助成部門(設備整備)

いやしと思いやり ベンチと花でまちが公園づくり

ベンチを拠点にしてまちづくりの拠点をどう作り出せるか期待しております。多くの人に活用してもらうためには、どうすればよいか、ぜひ、ひと工夫をなさってください。ベンチが単に人が座る場から、人たちが集い、情報交換をする場になるような仕掛けも盛り込むと街や商店街の活性化にも期待できそうです。お花の管理は負担にもなるだろうと思います。ベンチに絵を描いたり、メッセージを書いたりするのも良いかなと思います。

学園版ボランティアスポットの発足

地域の施設と人をつなぐ、商店街に訪れる人と施設に通所する人をつなぐなど、よい交流やコミュニケーションの場となっていますので今後の展開が楽しみです。無理のない実施活動に始まり、少しずつ広げていく発展的な活動に移行していったこと、地域の多くの人たちのかかわりが身を結んだと思う好事例だと思います。「憩う」場所には「トイレ」も不可欠だと思います。

まちなか「ほっとベンチ」設置

ベンチカバ製作を通して、他の団体を取り込んでいってほしいと思います。障害者施設との協働だけでなく、様々な障害の方との協働を模索してください。「このベンチなら、ほっとできる」と言ってもらえる工夫、ベンチまで来てもらう工夫(表示や地図)などがあると利用者も増えそうです。描画者が多岐にわたる交流ができたこと、自分たちの絵があることでベンチに対する愛着などもうかがわれ、良い取り組みであったと思います。「街」と「祭」のイメージがほしい。他への広がり、たとえば「秩父のナイトパザール」などを参考にしたらどうでしょうか？

テーマ部門(マップづくり)

行ってみたい公園マップ作り

今後の課題を見つけたさきかけになったことは、良かったと思います。ボランティア活動に携わっている人びとの今後の活動の組織化にもつながるのではないのでしょうか。

ふれあいの街大泉学園

「医療」に関する情報の集約とマップ化にも期待しております。食も医療も私たちの生活に密着なものですので、分かりやすく使い勝手のよい地図や一覧をぜひ手元に置きたいと思っている方々は地域に多くいらっしゃると思います。

西武線「保谷駅」を囲む大泉4町会と隣接する西東京市3町会の地域のやさしきミニマップづくり～障害者トイレを軸に考える～

トイレと駐車場はいつもまっさきに考えることである。こういう情報の収集が街を作る人たちの考え方を動かすことになる。現実のコミュニティは行政の区域を越えたところがあるので、とてもいいと思います。

石神井公園商店街店舗出入口バリアフリーマップ

従来からある店舗のバリアフリー化が課題であり、ハードなまちづくりを進める必要があることを痛感しました。

事務局からのお知らせ

平成19年度の

公開審査会の日程が決まりました!

日時: 平成19年6月2日(土) 午後12時30分~(予定)

場所: 区役所地下多目的会議室

「ふくまち」のお問い合わせ

担当: 練馬区健康福祉事業本部
福祉部地域福祉課

TEL (3993)1111 (代) FAX (5984)1214
ホームページ http://www.city.nerima.tokyo.jp/shogaisha/fuku_machi/index.html